

仁淀川水系 流域治水プロジェクト

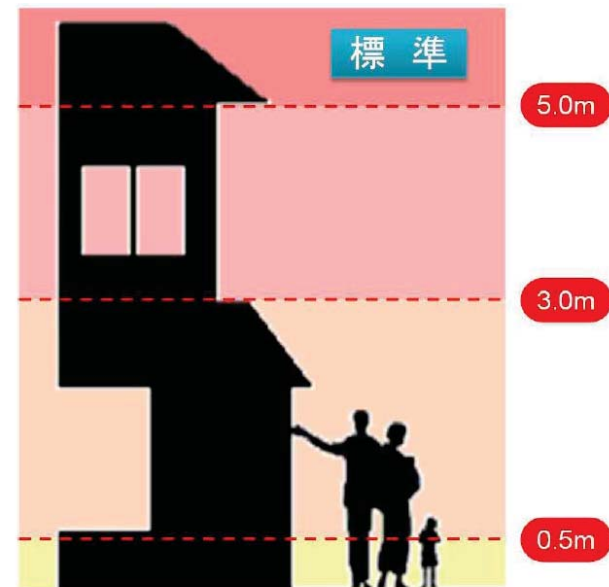
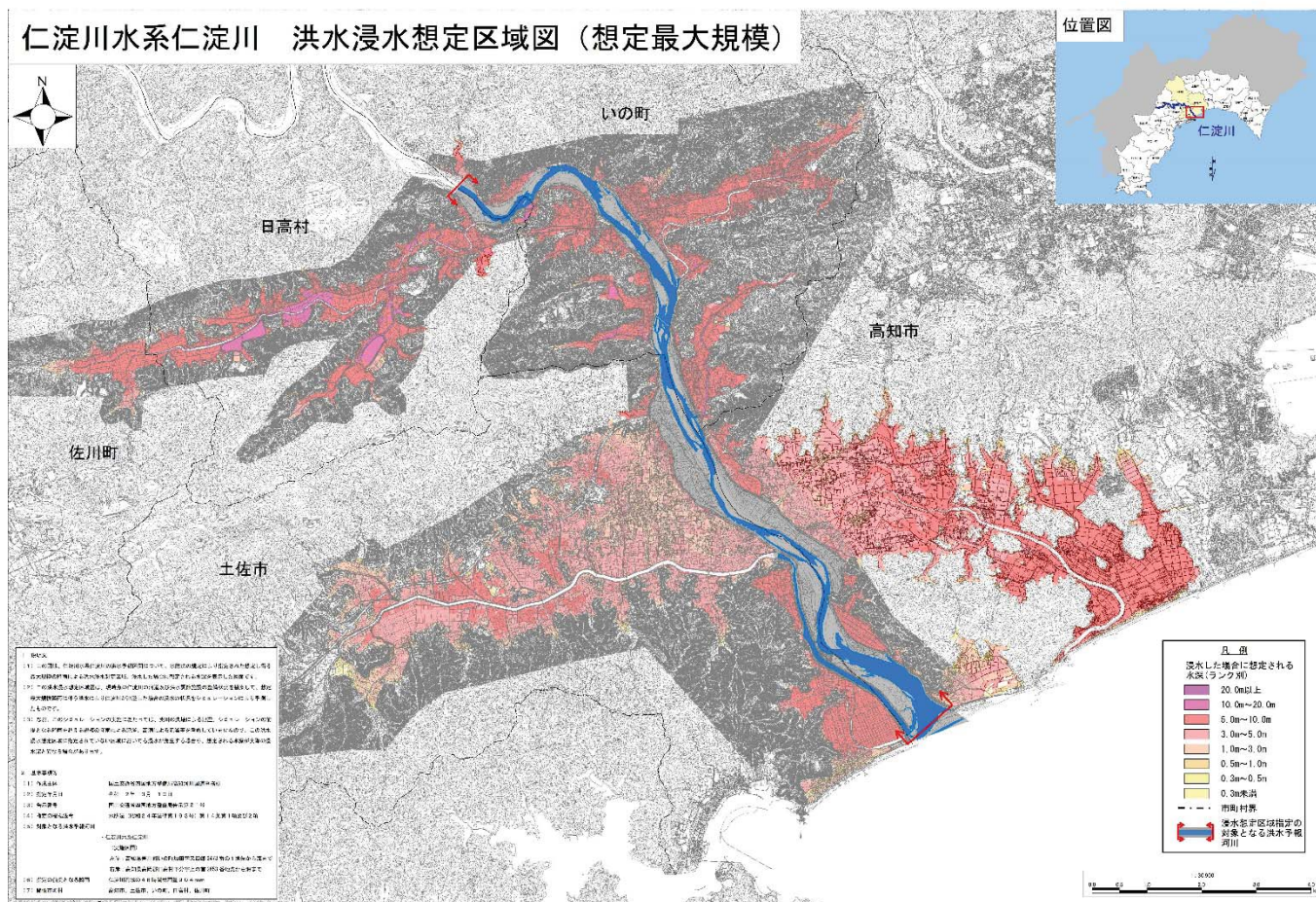
説明資料

仁淀川水系における治水上の課題(想定最大浸水深)

- ①想定最大規模の降雨により、仁淀川が破堤、越流した場合、高知市春野町、土佐市、いの町、日高村のほぼ全域に氾濫水が到達。
- ②想定最大浸水深が二階建て家屋の床面高である3mを超える地域が多く存在しており、かつ、高知市、土佐市、いの町における1階建て家屋の割合は約6%。

- ①浸水面積: 4,861ha
- ②床上浸水家屋数: 14,773戸
- ③被害額: 約16,045億円
- ④最大浸水継続時間: 58時間
- ⑤家屋倒壊等氾濫想定区域
氾濫流: 734ha 河岸侵食: 67ha

仁淀川水系仁淀川 洪水浸水想定区域図(想定最大規模)



水害ハザードマップ作成の手引き(国土交通省)

自治体	総数 (戸)	1階建て家屋 (戸)	1階建て家屋 の割合
高知市	154,230	7,300	約5%
土佐市	9,720	1,200	約12%
いの町	9,110	1,440	約16%
合計	173,060	9,940	約6%

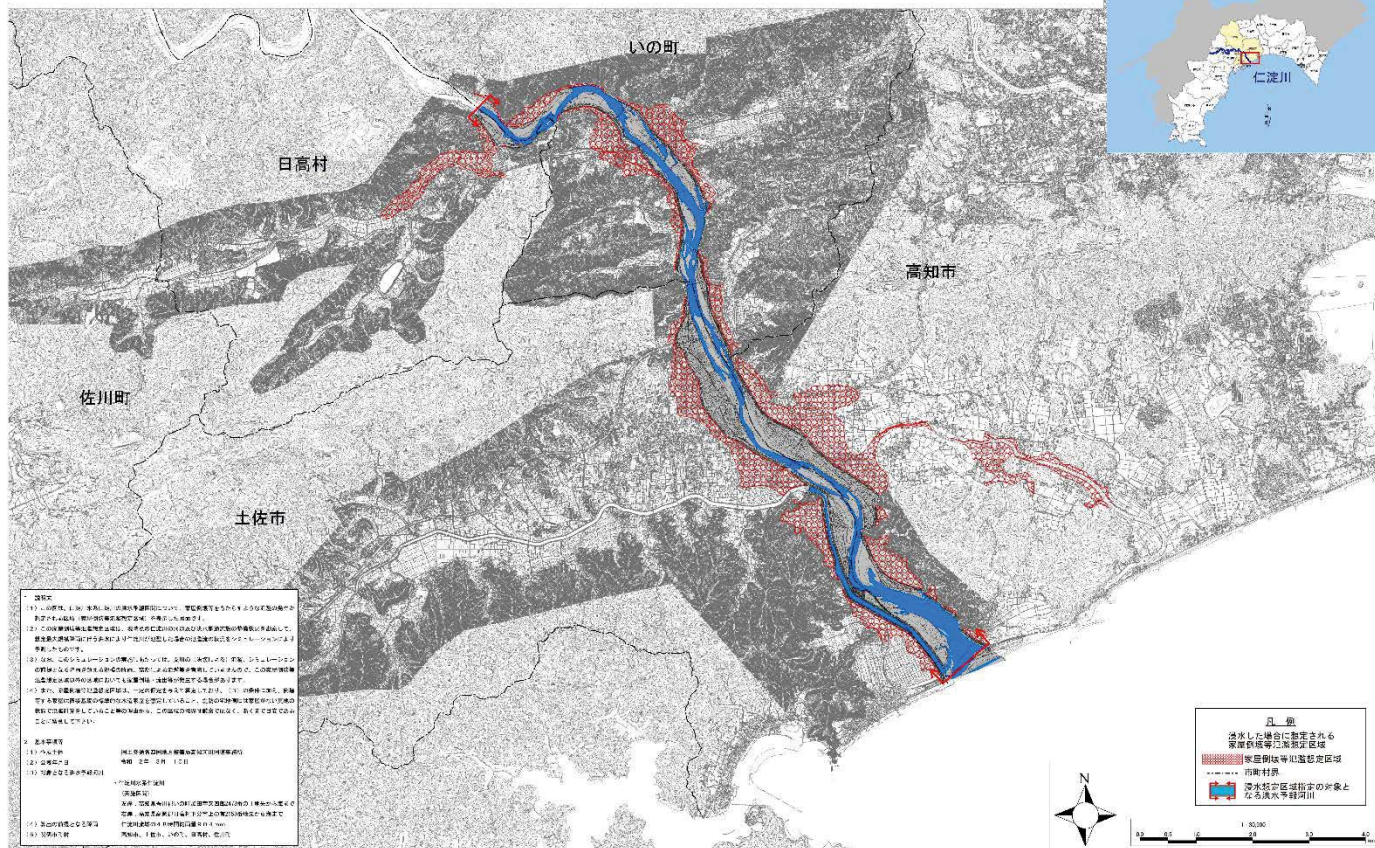
平成30年住宅・土地統計調査(総務省統計局) 1

仁淀川水系における治水上の課題(家屋倒壊等氾濫想定区域)

○想定最大規模の降雨により、仁淀川が破堤、越流した場合、家屋倒壊等氾濫想定区域内には多くの家屋が存在。

- ①浸水面積:4,861ha
- ②床上浸水家屋数:14,773戸
- ③被害額:約16,045億円
- ④最大浸水継続時間:58時間
- ⑤家屋倒壊等氾濫想定区域
氾濫流:734ha 河岸侵食:67ha

仁淀川水系仁淀川洪水浸水想定区域図(家屋倒壊等氾濫想定区域(氾濫流))



令和元年台風19号における救助活動
(令和元年版消防白書)



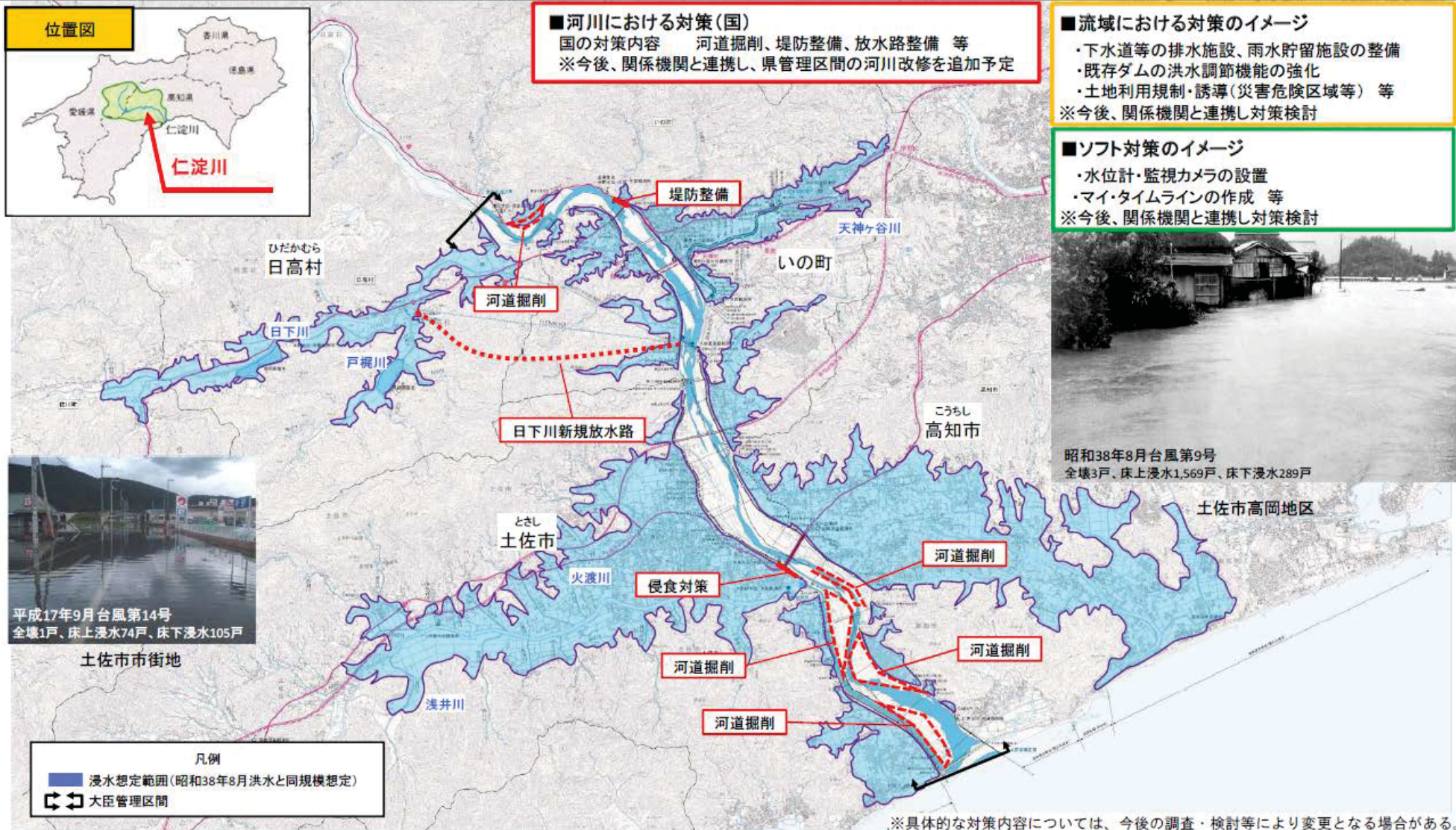
浸水による家屋倒壊(令和2年7月豪雨)
(災害写真データベース)

仁淀川水系 流域治水プロジェクト

【国土交通省】

～仁淀ブルーが育む地域の暮らしと産業を守る治水対策の推進(たたき台)～

○令和元年東日本台風では、戦後最大を超える洪水により甚大な被害が発生したことを踏まえ、仁淀川水系においても、事前防災対策を進める必要があることから、以下の取り組みを実施していくことで、戦後最大の昭和38年8月洪水と同規模の洪水に対して堤防からの越水を回避し、流域における浸水被害の軽減を図る。



仁淀川水系 流域治水プロジェクト ～ 現行の治水対策(高知県)～

【高知県】

高知県管理区間における各河川の整備計画の目標流量を安全に流下させるため、河道拡幅等の治水事業を計画的に実施する。
日下川・宇治川流域においては、平成26年8月台風12号による床上浸水被害の解消を図るため、国・県・市町村と連携して、再度災害防止対策を実施する。



【高知県】

【実施機関】 高知県

課題

-

- ## 「防災情報提供アプリ」を新たに開発

仁淀川水系 流域治水プロジェクト

～不動産関係業界と連携した水害リスクに関する情報の解説～

【高知県】

不動産関係団体の研修会等の場において、水害リスクに関する情報の解説を実施。

【実施機関】
高知県

◆背景

平成30年7月豪雨を受け、国交省から宅地建物取引業者に対し、取引の相手方に市町村が作成・公表する水害ハザードマップを提示し、当該取引対象の土地・建物の位置等を情報提供するように要請したことへの対応。

団体名	研修会名	実施日	参加者	実施内容
(公社)全日本不動産協会高知県本部 (公社)不動産保証協会高知県本部	令和元年度 第2回法定研修会	令和元年8月27日	20名	・水害とその種類 ・堤防及びダムと河川の氾濫について ・河川の浸水想定区域とハザードマップ ・避難のための情報について (県ポータル等紹介)
(公社)高知県宅地建物取引業協会 (公社)全国宅地建物取引業保証協会高知県本部	宅地建物取引業者研修会	令和元年9月18日 令和元年9月19日 令和元年9月20日 令和元年9月25日	約200名 約30名 約30名 約30名	



仁淀川水系 流域治水プロジェクト ～国等関係機関との連携～

【高知市】

実施事項	期間	内容
排水ポンプ車等の災害対策車両による操作訓練	R01年6月11日	迅速な排水活動が実施できるよう準備・訓練と出動体制の確認を運営業者、関係機関と確認、実施
物部川・仁淀川重要水防箇所合同巡視	R01年6月6日 R01年6月17日	出水期を迎え、関係機関の実務担当者と合同巡視を行い、洪水時に危険が予想され重点的に巡視、点検が必要な重要水防箇所の周知及び現地確認に参加
水防工法講習会	R01年6月30日	国、県、市町村等の連携協力を一層強化すると共に、水防団体の水防技術向上を目的とした水防工法講習会（講習内容：ロープワーク、土のう作り、月ノ輪工、木流し工、積土のう工、シート張り工など）に参加
高知市総合防災訓練	R01年10月27日	市、各防災関係機関、自主防災組織等による実践的な災害対応とそれぞれの連携した訓練を実施することにより、総合的な防災体制を確立し、併せて、防災に係る体験や学びを通して、市民の防災意識の醸成を図るもの。
緊急消防援助隊合同訓練	R01年11月30日	緊急消防援助隊の出動要請、舞台の参集及び配置等、実践に即した訓練計画を策定し、防災関連機関及び緊急消防援助隊相互の連携強化を図る。

仁淀川水系 流域治水プロジェクト ～防災講演会による意識啓発～

【高知市】

河川災害に関する防災講演会を行うことで住民への意識啓発を行う。

【実施機関】
高知市

高知市防災講演会

高知市の河川災害を知る・備える

～地域を守る防災リーダーが
いま知っておくべきこと～

日時：令和元年 **7月25日（木）**
13時30分～16時00分

場所：総合あんしんセンター 3階会議室



地域防災
リーダー

地域住民

地域住民

地域住民

講演 1 高知県の大雨の特性と避難のタイミング

30min

講師 高知地方気象台 防災管理官 西谷 幹生 氏

講演 2 河川災害を知る・備える

90min

講師 高知大学理工学部 准教授 張 浩 氏



略歴

1978年 中国・湖北省荊州市生まれ
2005年 京都大学大学院工学研究科土木工学専攻博士
2007年 京都大学助手・助教（2014年まで）
2014年 高知大学准教授（現在に至る）

仁淀川水系 流域治水プロジェクト

【高知市】

～高知市洪水ハザードマップの全戸配布及び住民説明会の開催～

高知市洪水ハザードマップの改訂に伴い、高知市洪水ハザードマップを防災タウンページに同封して配布することで防災情報等の周知を実施。

【実施機関】
高知市

令和元年9月

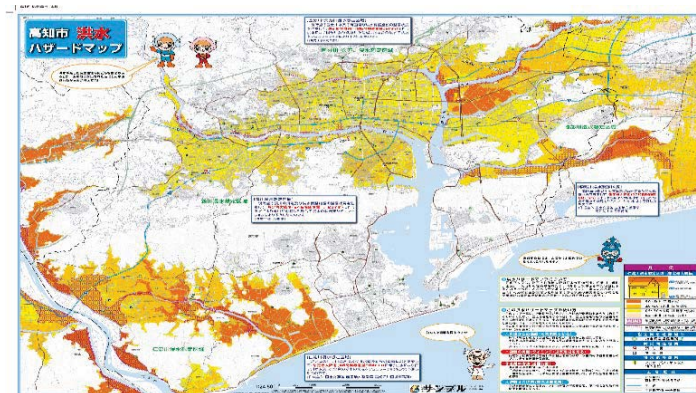
高知市洪水ハザードマップ 完成



令和元年11月

高知市に浸水域の発生する全ての河川を記載

防災タウンページに同封し、全戸配布



- ・高知市洪水ハザードマップ(全体的な災害、避難判断情報等を記載)
- ・防災タウンページ(具体的な避難方法や準備物等が記載)

市民の方に高知市洪水ハザードマップを詳しく理解していただき、いざというときに一人一人が適切な避難行動ができることを目的に、説明会を開催した。

【実施機関】
高知市、高知河川国道事務所
高知県

最大規模の洪水想定によって作成された高知市洪水ハザードマップ説明会を国・県・市の合同で行った(全5回 令和2年2月12日～2月19日)。

また、自主防災組織及び防災士連絡協議会からの要望を受けて説明会を行った(各1回)。

今後も自主防災組織等の要望があれば、適時説明会を行う。

説明会参加者数	
第1回	66名
第2回	54名
第3回	88名
第4回	59名
第5回	46名
合計	313名



仁淀川水系 流域治水プロジェクト ～近年の出水状況(土佐市)～

【土佐市】

○昭和50年8月台風5号：

浸水面積：1,590ha 床上浸水：1,915戸 床下浸水：1,439戸

○平成26年8月台風11号：

浸水面積：200ha 床上浸水：21戸 床下浸水：142戸

○令和元年10月台風18号：

浸水面積：278ha 床上浸水：7戸 床下浸水：19戸

平成26年8月台風11号 土佐市浸水状況



H26.8.10(台風11号)土佐市浸水等被災件数		
被災種別	件数(件)	被災概算額(千円)
道路	46	3,400
市道	41	3,000
農道	5	400
河川	12	1,150
土佐市管理河川	6	350
水路	6	800
がけくずれ	7	23,000
合計	65	27,550



昭和50年8月台風5号 土佐市浸水状況

鎌田井筋や波介川支川から氾濫

：浸水区域（土佐市調べ）

写真撮影日：H26.8.9～8.10

仁淀川水系 流域治水プロジェクト ～平時からの住民等への周知・教育・訓練の実施～

【土佐市】

平時からの住民等への周知・教育・訓練として、出水期前に住民説明会を開催するとともに、土佐市立波介小学校等が主催で毎年実施される防災体験(さつきまつり)にて、風水害時の指定避難所となっている同小学校に整備している避難所資機材について説明を実施。

【実施機関】

土佐市

国土交通省、高知地方気象台

住民説明会

(日時:令和元年6月13日 場所:土佐市防災センター)

平成31年3月に作成した仁淀川流域における想定最大規模降雨に基づく「土佐市洪水・土砂ハザードマップ」及び令和元年度から運用が開始された「避難勧告等の警戒レベル分けによる発令等」について、出水期前に住民説明会を開催し、92名が参加。



防災体験(さつきまつり)

(日時:令和元年5月25日 場所:土佐市立波介小学校)

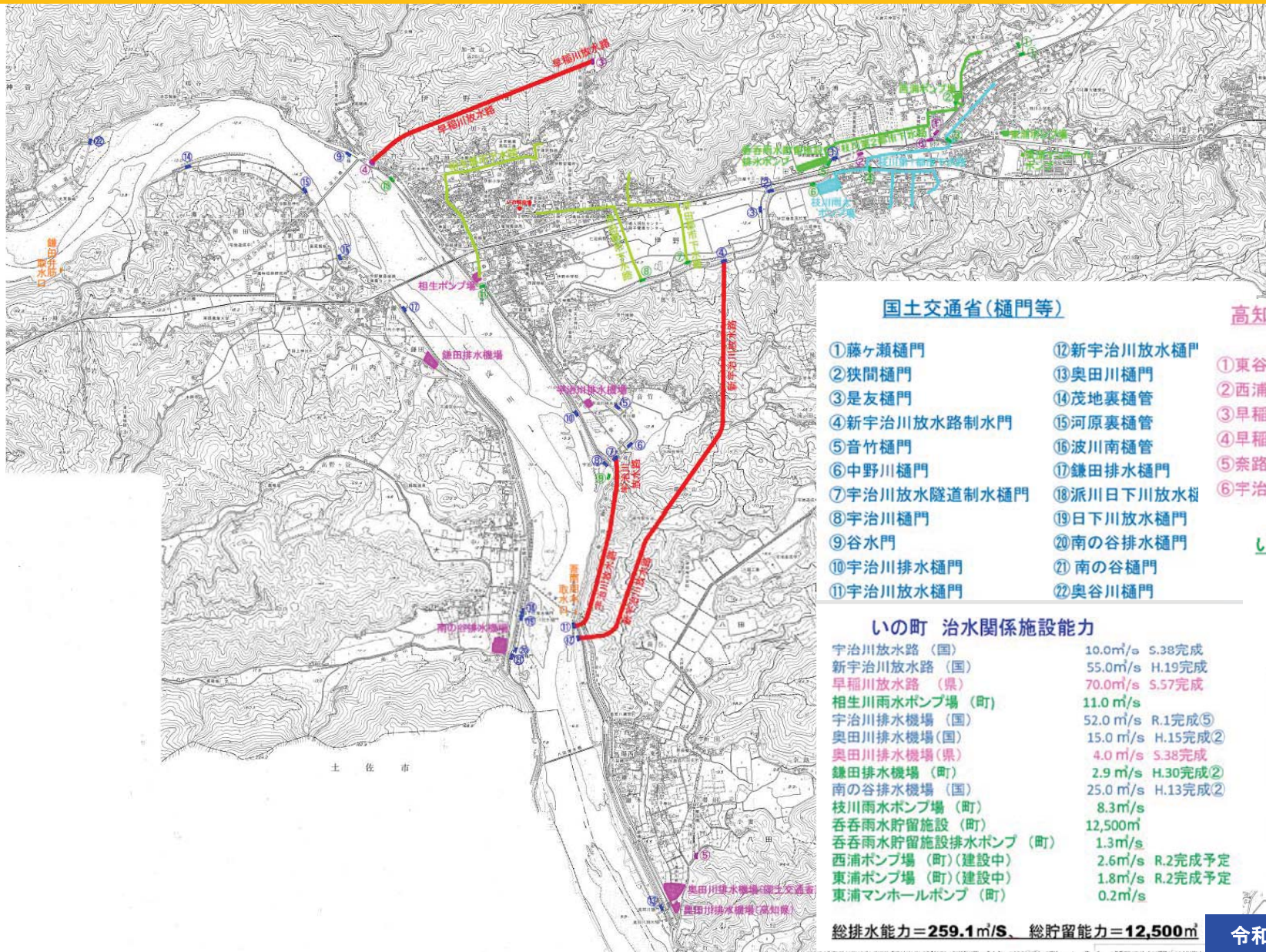
非常時に自分の身を守ることが出来るよう、炊出訓練、放水訓練、救命訓練、災害時体験を実施し、120名が参加。



仁淀川水系 流域治水プロジェクト

～いの町における治水対策(治水施設位置図※都市計画区域内)～

【いの町】



仁淀川水系 流域治水プロジェクト

～いの町における治水対策(床上浸水対策特別緊急事業)～

【いの町】

- 平成26年8月に台風12号、11号と一週間で2回の甚大な浸水被害が発生
- 国、高知県、いの町の3者が役割分担のもと事業を実施することで、平成26年8月台風12号と同規模の降雨に対して、床上浸水被害を防止

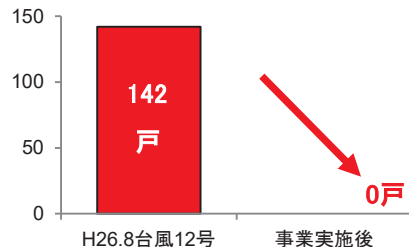
平成26年8月台風12号、11号の被害状況



	床上浸水	床下浸水
H26. 8. 3 台風12号	142戸	114戸
H26. 8. 10 台風11号	9戸	29戸

事業(国・県・町)の効果

平成26年8月台風12号と同規模の洪水に対して、床上浸水被害を防止



国・県・町で役割分担

①高知県による対策

整備目標: 河川改修を実施し溢水はん濫を防止
整備内容: 河川整備計画に位置付けている天神ヶ谷川の河川改修の推進(河道掘削等)

②いの町による対策

整備目標: 都市下水路施設を増強し、排水能力を向上
支川の河川改修により溢水はん濫を防止
整備内容: 都市下水路施設の整備推進(排水ポンプ等)
支川の河川改修の推進(壁面嵩上げ等)

整備により下流宇治川の流量が増加

③国土交通省による対策

整備目標: 支川整備等による下流宇治川への流量増加に伴う水位上昇を防止
整備内容: 宇治川排水機場のポンプの増設、河道掘削

平成26年8月台風12号による床上浸水被害の解消

④いの町による流域対策

整備目標: 内水安全度の維持
整備内容: 地域住民への啓発活動等適切なソフト対策を国・県と連携して実施

国・県・町が連携して、平成26年8月台風12号による床上浸水被害の解消及び機能を維持

仁淀川水系 流域治水プロジェクト

～いの町における治水対策（床上浸水対策特別緊急事業）～

【いの町】

【床上浸水対策特別緊急事業】

目標：国、高知県、いの町が連携して、ハード・ソフト対策が一体となった総合的な内水対策を進めることにより、**台風12号による床上浸水被害の解消**を図ります。

関係機関の整備メニュー

【いの町】

<ハード対策>

都市下水路施設の整備（排水ポンプ等）、支川の河川改修

<ソフト対策>

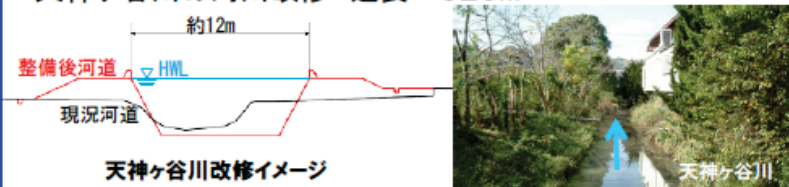
地域住民への啓発活動等適切なソフト対策を国と連携して実施

都市下水路施設の更なる整備（いの町） 支川改修（いの町）

天神ヶ谷川河道改修（高知県） 天神ヶ谷川工区 延長=620m

【高知県】

天神ヶ谷川の河川改修 延長=620m



【国】

宇治川排水機場のポンプの増設
(+12m³/s)

河道掘削



宇治川排水機場の ポンプの増設（国）



凡 例

— 国道33号
— JR土讃線
..... とさでん交通

凡 例

■ H26. 8台風12号による浸水範囲
（内水はん濫）

仁淀川水系 流域治水プロジェクト

【いの町】

～いの町における治水対策（宇治川排水機場 ポンプ増設(国土交通省)）～

令和2年7月30日現在



◆整備状況

- ・S50年 計画排水量10m³/s
- ・S51年 計画排水量10m³/s増設
- ・S52年 計画排水量10m³/s増設
- ・H11年 計画排水量10m³/s増設
- ・R元年 計画排水量12m³/s増設

総排水量
52m³/s



令和元年10月増設ポンプ稼働！！
宇治川流域の排水能力が向上！

仁淀川水系 流域治水プロジェクト ～いの町における治水対策（天神ヶ谷川 河川改修（高知県））～

【いの町】

令和2年7月30日現在

至高知市

至高知市

河川改修(工事準備中) L=90m

河川改修延長 L=620m

水圧函路(工事中) L=80m

水圧函路

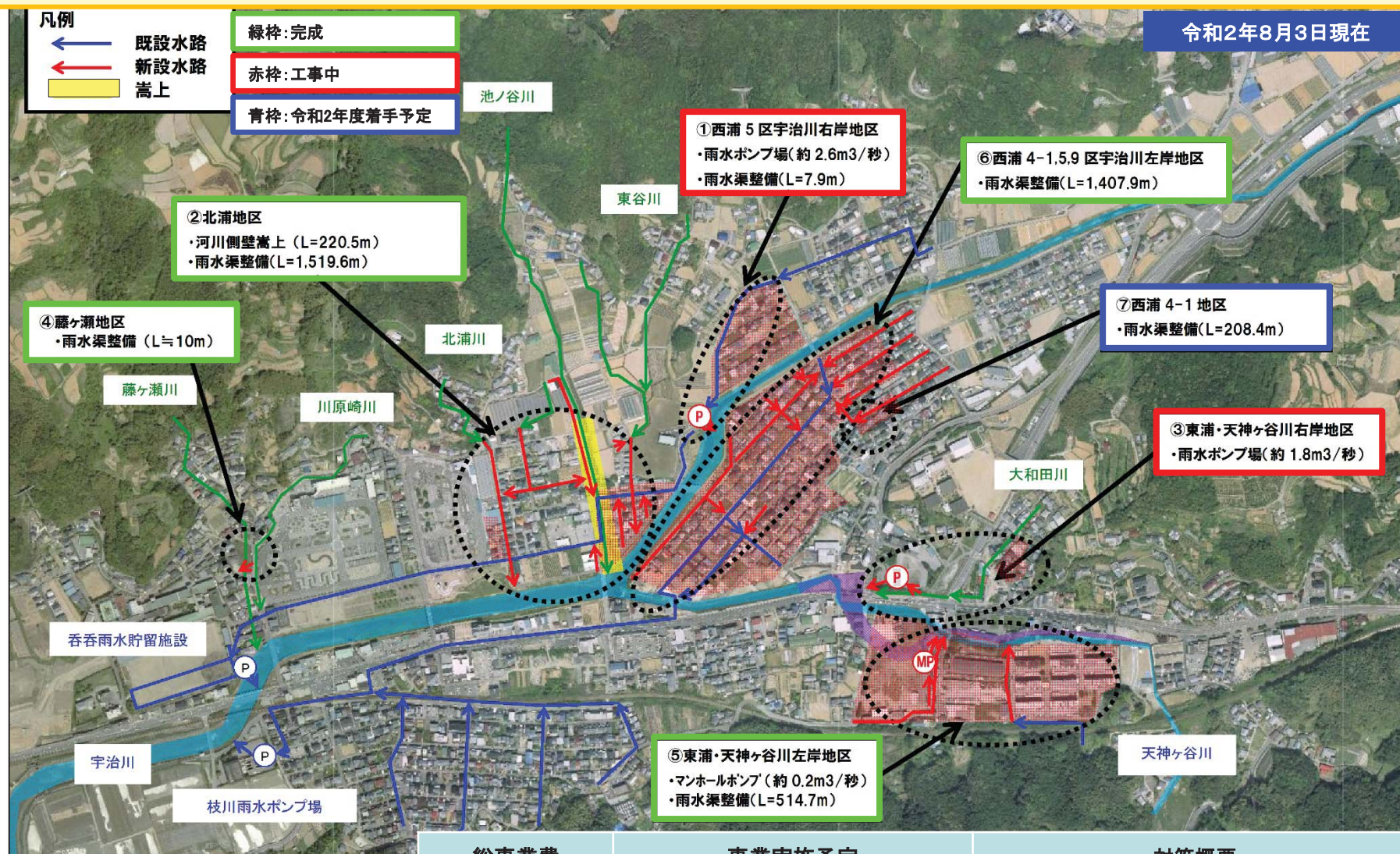
至いの町市街地

至日高村

仁淀川水系 流域治水プロジェクト

～いの町における治水対策（内水対策 個別事業概要（いの町））～

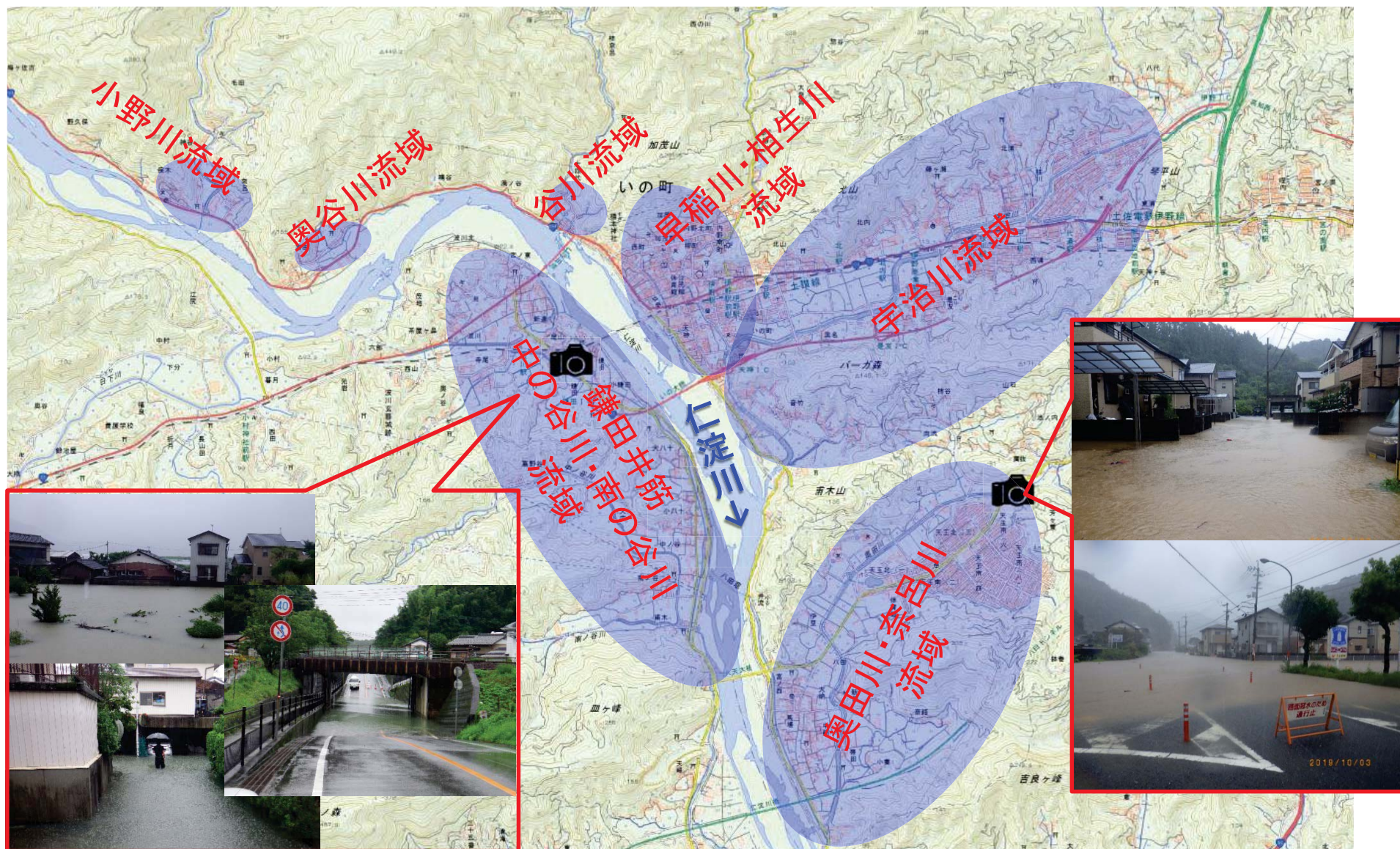
【いの町】



総事業費	事業実施予定	対策概要
15億円(概算)	H27 事業計画変更 H28 設計委託 H29～R2 工事着手	雨水ポンプ場 2箇所 マンホールポンプ 1箇所 雨水渠整備 L=3.7km (U300～□1,400) 河川側壁嵩上 L=220m (0.2m～0.8m)

仁淀川水系 流域治水プロジェクト ～流域治水に対しての意見（各支川の流域治水）～

【いの町】



仁淀川水系 流域治水プロジェクト
～流域治水に対しての意見（町管理 普通河川の整備）～

【いの町】



根入も浅い
空石積護岸が多数

豪雨による
被災



普通河川八代川

事前防災費の拡充

普通河川の整備に対し補助があれば、
崩壊前に整備することができる。



仁淀川水系 流域治水プロジェクト ～大雨を想定した防災学習会の実施～

【いの町】

仁淀川水害・土砂ハザードマップを活用した防災学習会を実施。

【実施機関】

いの町

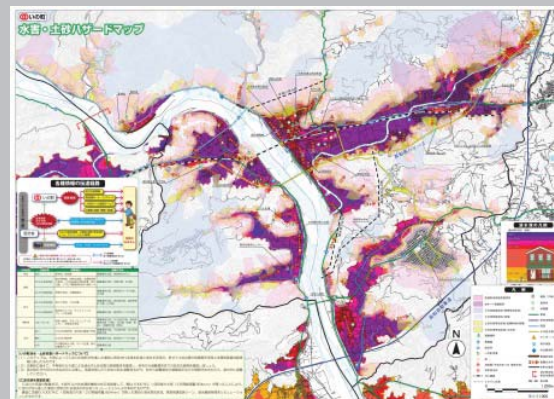
(是友・奥名地区自主防災会)

1. 実施日 : 令和元年6月16日(日) 19:00～20:00
2. 会場 : 是友集会所
3. 参加者 : いの町是友・奥名地区の住民、いの町
4. 実施内容 : いの町是友・奥名地区自主防災会の主催により、H30西日本豪雨時の気象情報や町の防災対応、新たに運用が始まった警戒レベルによる避難情報、住民が取るべき行動や備えについて学習会を行った。
5. 実施効果 : 大雨時には是友・奥名地区で発生する災害(土砂災害、床上・床下浸水等)について情報共有。ハザードマップを活用し、浸水想定区域や想定浸水深などを確認できた。

防災学習会の様子



配布資料



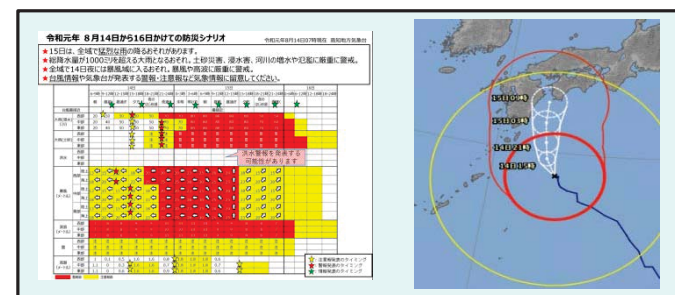
仁淀川水系 流域治水プロジェクト ～リエゾン(情報連絡員)派遣とホットラインの活用～

【いの町】

令和元年 台風10号による出水において、リエゾン(情報連絡員)派遣とホットラインを活用し、出水対応を実施。

【実施機関】
いの町

1. 実施日 : 令和元年8月14日～8月15日
2. 実施内容 : リエゾンによる仁淀川予想水位や技術的支援の提供。
高知河川国道事務所長とのホットラインにより最新情報の共有。
避難勧告等の発令について防災関係機関で情報共有。
自主防災会連合会等と情報共有。
3. 参加者等 : 町管理職、仁淀消防組合消防長、消防団長、土佐警察署いの警察庁舎長
4. 詳細 :
 - ・大渡ダムの予備放流情報
 - ・水門、樋門操作人、土木業者への事前連絡
 - ・各課室、機関の役割分担
 - ・リエゾン(情報連絡員)による河川情報の提供
 - ・自主防災会連合会等へ事前連絡



台風対策会議の様子



仁淀川水系 流域治水プロジェクト ～防災情報提供アプリの開発～

【いの町】

防災行政無線システムを利用した、防災情報提供アプリケーションを開発。

【実施機関】
いの町

1. 整備年度: 令和元年度、令和2年度(2カ年)
2. 整備内容: 伊野地区 (操作卓の改修)
吾北、本川地区(中継局、屋外スピーカー、戸別受信機の更新)
3. 防災アプリの開発
防災行政無線システムと連携し、放送内容をテキスト情報、音声情報により個人のスマートフォンに配信が可能。
J-ALERTからの緊急情報の配信にも対応可能。
町公式ホームページ等で公開している広報やゴミカレンダー等のコンテンツを閲覧できる配信機能を設置。

【「防災アプリ」の導入で期待される効果】
情報伝達の多重化により、多くの方に確実に防災情報を伝えることができる！

(導入のイメージ)

災害情報や避難情報を発信！



操作卓

既存の
情報伝達！



屋外スピーカー



戸別受信機

スマホなどで
災害情報等を受信！



仁淀川水系 流域治水プロジェクト

【仁淀川町】

～避難勧告等の判断基準(仁淀川町森地区、池川土居地区)～

○避難計画

1) 避難勧告等の判断基準

気象台等関係官公署からの通報、避難を要すると判断される場合は、夜間を避け明るい時間帯に避難が完了するよう早めの伝達に努める。

仁淀川町森地区、池川土居地区においては、浸水による避難の遅れを防止するため危機管理型水位計の活用による、避難誘導に努める。

○流域治水対策

本町においては、大小様々な河川が仁淀川に流れこんでいるが、山地崩壊による流木の被害が予想され、砂防施設の整備が重要である。



仁淀川水系 流域治水プロジェクト ～避難行動計画(マイ・タイムライン)の作成～

【佐川町】

風水害時に避難すべきかどうかなどの避難行動計画(マイ・タイムライン)を
予め家庭毎で決定してもらう取組を実施。

【実施機関】
佐川町

～家庭における防災力の向上を図る取組～

○「さかわ家族防災会議の日」の制定

佐川町民の皆さんの防災意識の向上を図るため、ご家庭で防災についての話し合いの場を設けていただこうと、毎月、第2日曜日を「さかわ家族防災会議の日」として平成28年8月に制定しました。

毎月異なった防災に関するテーマを広報紙や防災行政無線などでお知らせし、そのテーマに沿って家族の皆さんで第2日曜日に話し合いを行っていただく取り組みを実施しています。

○「防災まちづくりサロン」

家庭の災害対策の状況、避難行動や課題などを住民の皆さんに考えていただくことにより、災害を自分事として捉えてもらう「防災まちづくりサロン」の取り組みを実施しています。

サロンの参加者からは、「あらかじめ避難計画を決めておくことが大事だと分かった。」「風水害と地震では対応が異なり、災害毎に考えないといけないことが分かった。」などの意見や「自分の身は自分で守らないかん。」といった発言もあり、防災意識向上の効果も現れていると感じております。

平成27年度から始めたこのサロンの取組は、平成30年8月末時点では75の自主防災組織で開催し、参加人数は1,313人となっています。本年度中には、町内の95組織、全ての自主防災組織での開催を目指しています。

また、この取組で使用していただくため、「わが家の災害に備えるチェックシート・わが家の避難行動計画」(マイ・タイムライン)のシートを作成し、平成28年8月に町内全戸に配付しています。今後、2年毎の頻度で、作成、配付を予定しています。現在、「わが家の災害に備えるチェックシート・わが家の避難行動計画」改定版を作成中です。



防災まちづくりサロンの状況

「わが家の災害に備えるチェックシート」改訂版
「わが家の避難行動計画」改訂版

仁淀川水系 流域治水プロジェクト

～越知町における現行の流域治水対策、避難の呼びかけ～

【越知町】

- 林業振興による山の保水力強化（急激な増水の抑制、山腹崩壊等の防止）
- 仁淀川本流をはじめとする河川の浚渫・掘削・支障樹木の伐採（河川断面の確保等）
- 仁淀川本流の護岸改修、支川の改修（宅地・農地等への浸水被害・背水被害の軽減、道路冠水の防止）
- 仁淀川本流の河道閉塞の防止（南海トラフ地震発災時における河川への大規模崩落等の防止）
- 洪水・浸水ハザードマップの作成（災対本部での活用、水害リスクを住民へ周知・啓発）
- 大渡ダムと筏津ダムの放流量データの利活用（災対本部での各種警戒態勢の判断基準に活用）
- 県が設置した危機管理型水位計等の利活用（主要道路の封鎖、避難タイミングの把握に活用）
- 消防団への小型船舶等の配備、船舶免許取得の支援（逃げ遅れや水没家屋からの住民救出に活躍）
- コロナ渦でも安心な清流仁淀川を舞台としたアウトドア観光の推進と河川流域の整備・保全



平常時

仁淀川本流（写真左）と町中心部（写真右）

平成25年9月4日：台風17号



台風通過直後

町道冠水、沈下橋を越流



平常時



台風通過直後

県道と田畑冠水



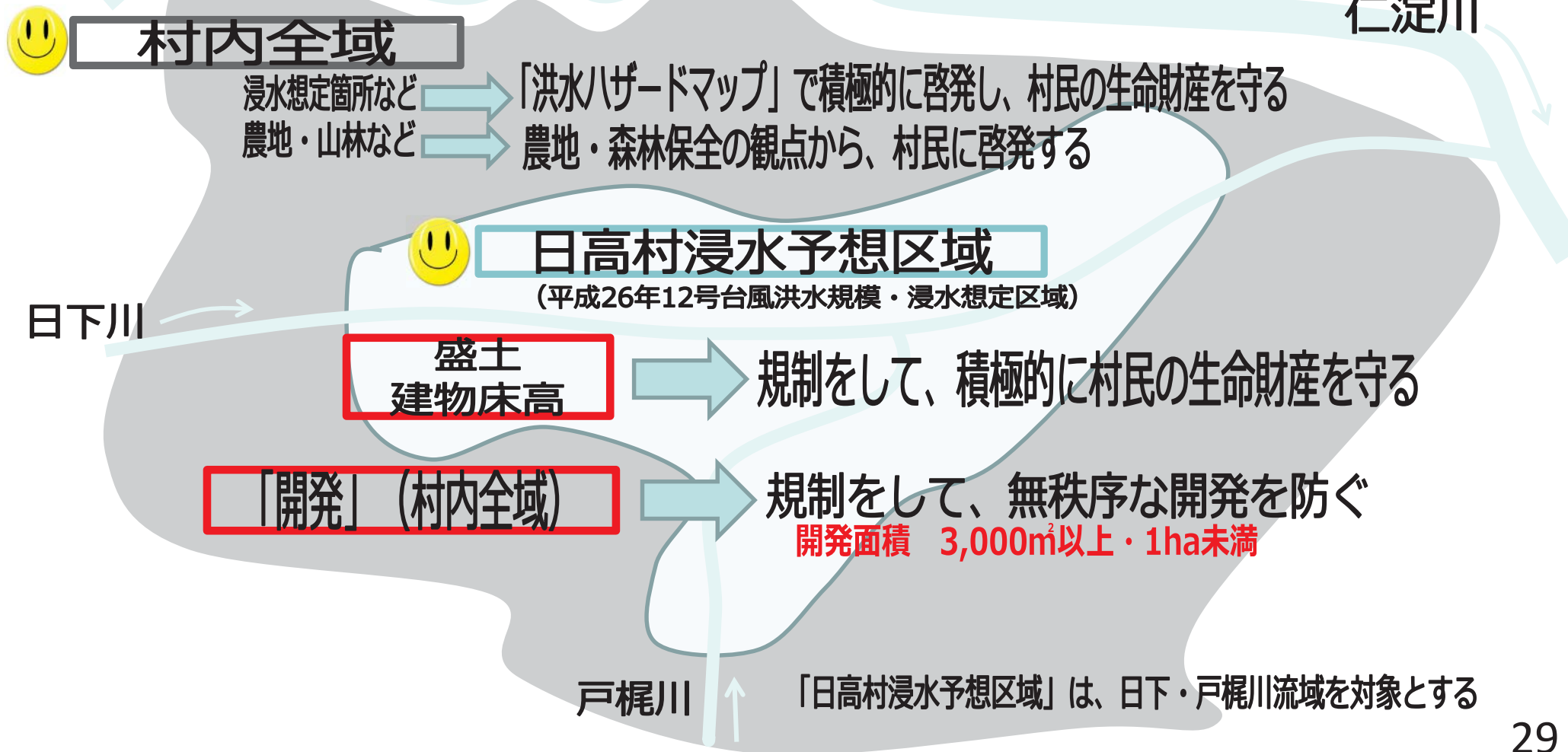
YOKOJIRI
よこじり

仁淀川水系 流域治水プロジェクト

【日高村】

～総合治水条例：日高村水害に強いまちづくり条例の策定（現在検討中）～

- （目的）総合治水対策の基本となる事項を定めることで、浸水被害の解消を図り、床上浸水を防ぐこと。
- （内容）床上事業完成後、浸水が想定される区域を示し、規制をして、積極的に村民の生命財産を守る。
また、村内全域においても、広く目的を啓発し、村民が安心して暮らすことのできる「まちづくり」を目指す。



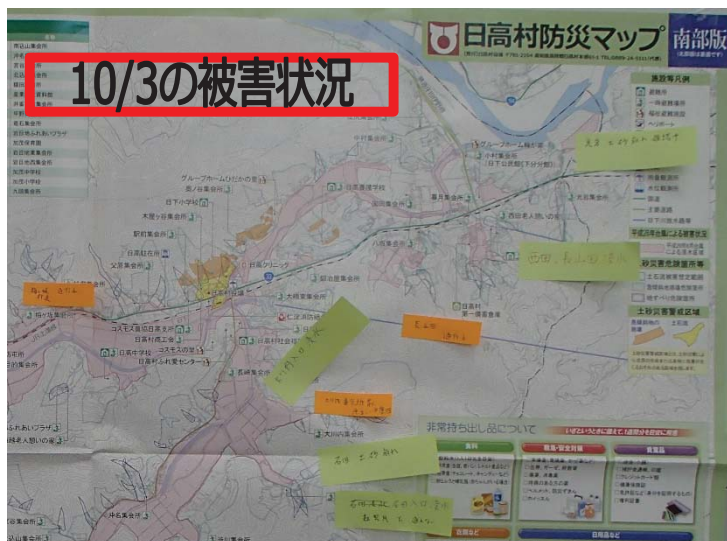
仁淀川水系 流域治水プロジェクト

【日高村】

～(支川対策の必要性(令和元年10月3日台風18号での福祉施設孤立) 日下川下流域に流れ込む支川 長山田川などで溢れる)～

- (日下川下流区域) 日下川放水路付近 (日下橋周辺) から仁淀川までの合流地点約2.5km区間。河川を管理する高知県が、仁淀川合流部から河川改修を進める計画。
- (課題) 早期の河川改修が待ち望まれているが、仁淀川合流部から、国岡橋付近約0.7km以降は、工事の具体的な目途が立っていない。

日下川 下流域の「未改修区間」に流れ込む支川で水が溢れる



10/3 未明より激しい豪雨が襲い、特に、村の南斜面に位置する斜面などで、土砂災害が多く発生。長山田川など、日下川下流域に流れ込む支川で、水が溢れ、プラウラウンドでは、7名が一時孤立状態となった。



10/3 15:00頃 長山田: プラウラウンド前にて

仁淀川水系 流域治水プロジェクト ～福祉部局との連携によるきめ細かい避難の呼びかけ～

【日高村】

地域福祉活動ネットワーク会議及び見守り支援ネットワーク会議を通じて、要配慮者の避難行動に関する検討を実施。

【実施機関】

日高村社会福祉協議会、日高村

1. 実施日：各5地区 年2回の実施
2. 対象者：地域住民
3. 実施内容：住民主体の助け合い・支えあいの仕組みづくり

▼【地域福祉活動ネットワーク会議】(右写真)

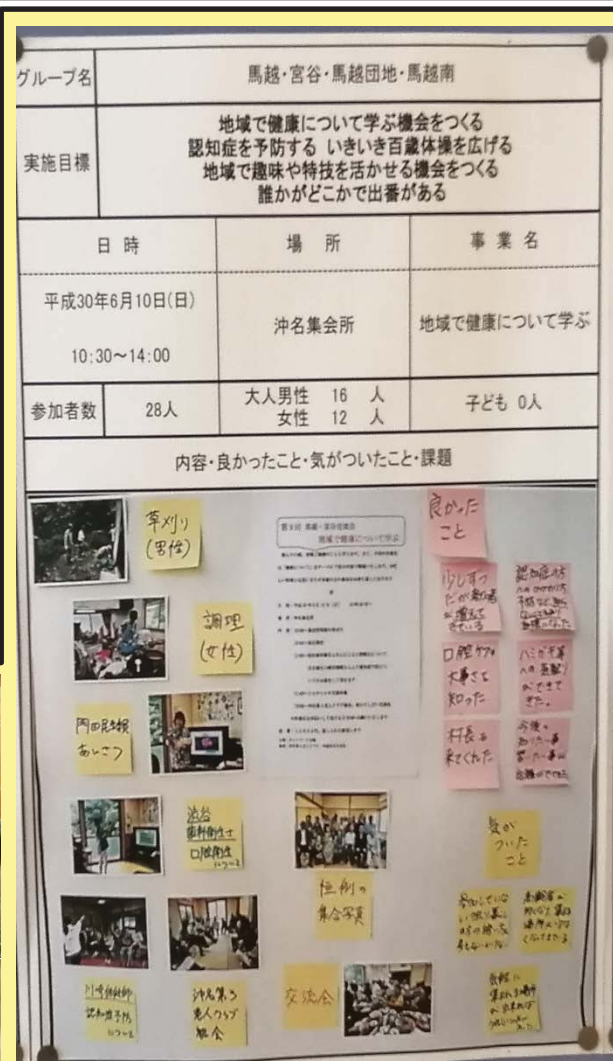
平成3年ふれあいまちづくり事業の指定を機に取り組みを進め、災害をテーマにしたワークショップをきっかけに、地域の事も考える話し合いへ。地域の繋がりを計画・振り返りを行っている。

▼【見守り支援ネットワーク会議】(下写真)

- 平成26年における台風災害を受け、避難行動要支援者個別避難支援計画に基づき、各地域における要配慮者の把握及び支援者の検討を実施。
- 民生委員をはじめとした各種委員及び地域住民とで、浸水区域や土砂災害といった防災情報や支援者情報を共有し、住民主体の助けあいの構築を図っている。



ネットワーク会議の様子



仁淀川水系 流域治水プロジェクト ～小学生による防災の「調べ」学習～

【日高村】

小学生自ら学び調べたことを、学習発表会を通し、地域へ発信。

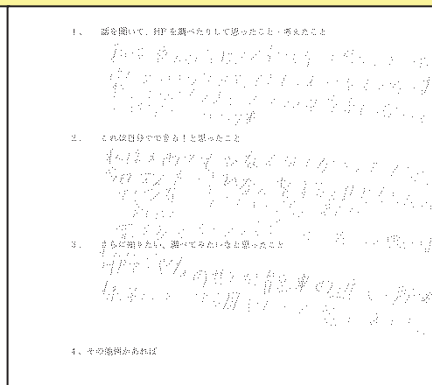
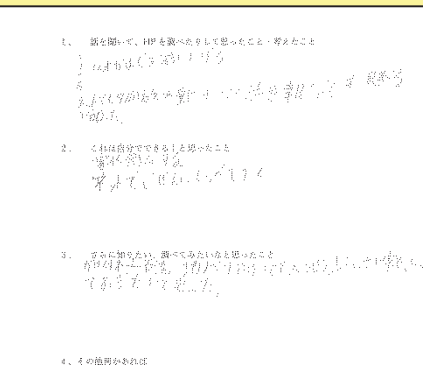
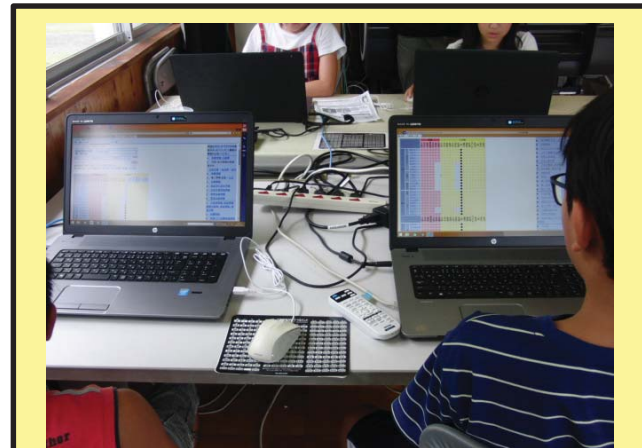
【実施機関】
日高村村内学校

1. 実施日：令和元年7月6日
2. 対象者：能津小学校5,6年生
3. 実施内容：小学校での防災に関する学習の実施

○毎年防災に関するテーマを決め、生徒が学習し、自ら学び調べたことを、学習発表会を通し、地域へ発信をしている。

○今年は、洪水土砂災害を観点とした「災害に備える」をテーマに、昨今の日高村にて起きた大雨による被害や仁淀川の水位上昇など現状を学びながら、大雨に関する情報を仕入れ、地域に住む大人へ情報発信するために、パソコンを使って防災情報を配信しているサイトを紹介するとともに、防災に関する「調べ」学習を行った。

※こうち防災情報HPを基軸に気象情報や、河川情報をメインに調査



授業を受けての感想

「調べ」学習の様子